

未来を担う人づくり

【子どもが健やかに育つ環境づくり】

2005年度は、23か所の子育て支援センター、96か所の地域育児センター、144か所の私立幼稚園の地域開放など子育て支援事業の充実のための支援を行いました。また、次世代育成支援活動交流フォーラムの開催などにより地域における支援活動の活性化を図るとともに、啓発冊子の作成などにより子育て家庭を暖かく支えていくための情報提供・啓発を図りました。

2006年度は引き続き、子育て支援センターなどの運営への支援や子どもや子育て家庭への理解促進のための普及啓発を行います。
(保健福祉部、県民部)

【これからの社会に対応する教育の推進】

2005年度も、児童・生徒の学習状況や学力定着状況を把握し、学ぶ意欲を高める習熟度別指導など個に応じた指導や総合的な学習の時間の取組みを充実させ、子どもたちの確かな学力の向上を図りました。また、学級編制の弾力的運用として、市町村教育委員会と連携して研究指定校の小学校1学年及び2学年において少人数学級を実施したほか、神奈川県子ども読書活動推進会議を開催し、各機関・団体と連携しながらモデル地区やフォーラムを実施し、子どもの読書活動の効果的な推進を図りました。

2006年度は、学校教育における諸課題などについての研究にも取り組み、教科などの指導や評価の工夫・改善など、教育活動の充実を図ります。
(教育委員会)

【豊かな心と体を育む教育の推進とそれを支える地域社会づくり】

2005年度は、児童・生徒の心の問題に対応するため、スクールカウンセラーによる相談体制の拡充、小学校段階での不登校などの未然防止や早期発見を図るための子どもと親の相談員の配置などの取組みを行ったほか、こころの問題で保健室を訪れる児童・生徒に適切に対応できるよう養護教諭を対象にカウンセリングにかかる研修を行いました。また、安全で安心な食の提供や食育推進のための意識啓発及び専門性の向上を図り、食に関する指導が充実した形で行われるよう、学校給食に従事する職員や管理職・職員に対し研修や研究会を行いました。

2006年度も引き続き、同様の取組みを行います。
(教育委員会)

【地域に根ざした学校づくりの推進】

2005年度は、学校において個性や特色のある教育活動を展開するため、地域や学校の実情に応じ、優れた資質、能力を持った人材を幅広く確保する観点から、民間からの人材を校長として採用しました。また、すべての県立高校生が卒業までにボランティア活動を行うきっかけづくりとして、地域貢献デーを設定したほか、継続してボランティア・パスポートを作成・配布しました。また、県立高校を活用した公開講座を引き続き実施し、社会人聴講生受入れの拡充など学校と地域社会との交流を進めました。

2006年度は、民間人校長の採用をさらに進めるほか、県立学校において多様な公開講座を開催します。また、地域貢献活動を全校で実施するとともに、高校生が主体的にボランティア活動の企画・運営を行えるよう、高校生ボランティア活動の拠点を設置するなど、一人でも多くの生徒がボランティア活動を体験できるよう環境づくりを進めるほか、勤労観・職業観を育むインターンシップ（就業体験活動）を推進するために地域連絡協議会を設置し、キャリアアドバイザーを配置します。
(教育委員会)

【多様で柔軟な高等学校教育の推進】

2005年度は、県立高校改革推進実施計画に基づき、フレキシブルスクール*や普通科専門コースなどの新しいタイプの県立高校を3校設置したほか、各校において選択科目の充実や、高校や大学との連携などの多様な学習機会を提供し、特色ある高校づくりに継続的に取り組みました。

2006年度は、県立高校改革推進計画後期実施計画に基づき、引き続き選択中心の弾力的な教育課程の提供のほか、定時制における新しいタイプの高校の設置や不登校生徒の対応も視野に入れた通信制における新しいタイプの高校の設置に向けて準備を行います。
(教育委員会)

【安全で快適な教育環境の整備】

2005年度は、快適な教育環境を確保するため、県立高校改革による再編整備と整合を図りながら、老朽化が進みつつある県立高校の校舎の老朽化対策を進めたほか、県立学校の耐震補強工事などを実施しました。

2006年度は、快適な教育環境の確保や児童・生徒などの安全確保の観点から、県立学校の校舎について耐震診断を集中的に実施するとともに、耐震補強工事などを進めます。また、災害発生時に学校が避難所として使用されることを想定し、学校における防災体制の確立を進めます。
(教育委員会)

【一人ひとりの障害の状態に応じた教育の推進】

2005年度は、障害のある生徒が円滑な学校生活を送れるよう、県立高校に介助員を配置したほか、障害児や教育上特別な支援を要する子どもたちに対する教育相談や情報提供を行うなど地域の障害児などの自立と社会参加の支援を行いました。また、学習機会の確保を図るため、養護学校の整備を進めるとともに、看護師資格を有する教員を平塚ろう学校へ配置したほか、障害児の社会的自立促進のため、就労対策や現場実習などの進路指導の充実を図りました。

2006年度は、個別の支援計画の取組みを小・中学校の特殊学級・通級指導教室の児童・生徒に拡げていきます。
(教育委員会)

【ふれあい教育運動の推進】

2005年度は、ふれあい実践活動をより一層進めるため、(財)神奈川県ふれあい教育振興協会が実施する自然体験活動事業などを支援しました。

2006年度は、3つの県立ふれあいの村に指定管理者制度を導入するなど、誰もが気軽にかつ安全に自然に親しめるよう、さらなるサービスの向上と効率的な運営を行います。
(教育委員会)

主な施策・
事業体系

【心豊かに育つ社会環境づくり】

2005年度は、青少年サポートプラザにおいて、青少年の心の問題に関する相談窓口を運営するとともに、こうした問題に取り組むNPO*などへの支援として情報提供やスタッフ研修会、ボランティア体験講座などを実施しました。さらに、複雑化・深刻化する学校・家庭教育に関する悩みに適切に対応するため、教育相談員の能力向上のための研修を実施したほか、家庭教育力を充実させるための冊子の配布やテレビ番組の放送などを行いました。

2006年度は、引き続き、青少年の心の問題に対応していくとともに、NPOなどと協働で青少年の自立に向けたモデル事業を実施します。
(県民部、教育委員会)

【私立学校教育の振興】

2005年度は、教育条件の維持向上、修学上の経済的負担の軽減及び学校経営の健全性の向上を図るため、私立学校の経常的な経費や特色ある教育への取組みに対し支援を行ったほか、一定所得以下の保護者などの学費負担を軽減するため入学金や授業料を軽減した私立高等学校などへの支援の充実を図りました。

2006年度も引き続き、私立学校教育の振興のための支援を行います。
(県民部)